

# 「コミュニケーション」という名の機関誌

園長 小松 守

今号で当園機関誌が節目ともいえる100号目となった。1990年6月の第1号から30年目でもある。創刊号から変わらぬ機関誌名「コミュニケーション」は当時編集に携わるスタッフが、動物園と入園者や市民、さらに動物たちとがどこか心を通わせ、つなげたい、つながりたいという願いを込めて考えたものだ。現在の大森山動物園のテーマ「動物と語らう森」にもつながっている。

発行当初の編集作業は、今のようにスタッフ全員がパソコンを使った編集作業ができた時代ではなく、表紙文字のデザインや資料の切り貼りなどは手作業であり、原版完成後には市役所で印刷をした、まさに手づくり機関誌であった。外から見えにくい動物園の出来事を「伝えたい」、大

森山動物園理解につなげようという当時のスタッフの熱い思いで創られ、継続されてきた。都会の大きな動物園ではなく地方都市の動物園での機関誌発行は先駆的な時代でもあった。

発行継続の実績が認められたこともあり、後に手作りから印刷製本が専門業者に変わり立派な仕上がりになったが、編集作業は今でもスタッフの頑張りで行われている。大森山を「伝えたい」という紙媒体情報は記録として残るものであると同時に、今自分たちが何をしているのかを整理する機会にもなり、動物園づくりの重要工程とも言える。原点を見失わず、しかし新しい時代にふさわしい動物園広報誌として続けてゆきたいものだ。



## コミュニケーションランキング

これまで、コミュニケーションの表紙を飾った動物と、特集で取りあげられた動物のベスト3をお知らせします。興味がある特集は、ホームページのバックナンバー(No.64以降)で読むこともできます。

### 表紙の回数ベスト3

順位	回数	種類
1	5	アフリカゾウ トラ キリン イヌワシ
2	4	チンパンジー シンリンオオカミ レッサーパンダ
3	3	ニホンザル アシカ シマウマ

次点 4位・2回/トナカイ、ライオン、ツキノワグマ、ユキヒョウ、ミーアキャット、ペンギン、ビーバー、ムフロン、カピバラ、ワオキツネザル

### 特集の回数ベスト3

順位	回数	種類
1	8	イヌワシ
2	5	チンパンジー
3	4	アフリカゾウ

次点 4位・2回/キリン、シマウマ、サル全般



## コミュニケーション年表

NO	発行年	発行月	特集タイトル
1	1990	6月号	
2		7月号	マレーグマのブリーディングローン
3		8月号	シマウマの母子、そして飼育係の長い一日
4		9月号	ホオジロカンムリヅルの繁殖
5		10月号	
6.7		11.12月号	1990年大森山動物園10大ニュース
8	1991	1月号	動物園日記～年末の動物病院は大忙し～
9		4月号	ザ・引っ越し
10		6月号	二年目の新たな出発点はカモシカといっしょ
11		8月号	チンパンジーの繁殖作戦
12		10月号	サル山の赤ちゃんと母親
13	1992	1月号	新春放談～大森山のサル大いに語る～
14		4月号	新設フライングケージ 動物園でパードウォッチング!
15		6月号	ニホンカモシカの飼育をやってみたい
16		8月号	
17		11月号	
18	1993	1月号	秋田三鶏の話
19		6月号	ゾウの体重を計る
20		8月号	大森山動物園の20年を振り返り(上)
21		11月号	
22	1994	1月号	大森山動物園の20年を振り返り(下)
23		6月号	
24		9月号	シマウマのお引っ越し
25	1995	1月号	新春放談!「あっちこっち見て歩記」
26		6月号	動物園一口ガイド&アドバイス
27		9月号	夏のできごと
28	1996	1月号	動物あしあとクイズ
29		7月号	「水かけ」ボンタの謎
30		10月号	動物園おもしろ話・とびきり話
31	1997	1月号	動物園おもしろ話・とびきり話Part II
32		7月号	平川動物園(鹿児島市)での園館長会議に参加して
33		10月号	1997.大森山の夏
34	1998	1月号	新春初夢談義
35		7月号	ふれあい教室
36		10月号	新しい雄キリンの来園
37	1999	3月号	動物ウォッチング～飼育係の一言アドバイス～
38		7月号	かけ足で見たアメリカの動物園印象記
39		11月号	動物園利用のさらなる広がりをめざして…2つの試み
40	2000	3月号	開園特集 動物園みどころマップ
41		7月号	イヌワシ人工授精への挑戦
42		10月号	自然からのメッセージ(野生鳥獣の保護状況について)
43	2001	3月号	サル山
44	1992	3月号	動物園回顧録
45	1993	3月号	第3回ペンギン会議に参加して
46	1994	3月号	「ふれあいランド」への夢
47	1995	3月号	海外動物園見て歩き
48	1996	3月号	「ふれあいランド」建設工事
49	1997	3月号	いよいよオープン「ふれあいランド」
50	1998	3月号	98冬の動物たち
51	1999	1月号	うさぎ年に寄せたアラカルト
52	2000	1月号	干支の「辰」と動物の「龍」
53	2001	1月号	動物園と学校の連携を考える
54	2001	7月号	「コミュニケーション」誌の10年をふりかえる
55		10月号	猛獣舎(総合動物舎)
56	2002	1月号	「チンパンジーの森」パート1
57		3月号	いよいよオープン これがチンパンジーの森だ!
58		7月号	「たいよう」と共にごんばった3ヶ月
59		10月号	動物園の収穫祭
60	2003	1月号	鳥海&ボンタ「俺たちの30年」

NO	発行年	発行月	特集タイトル
61		3月号	開園30周年特集「大森山の主役たち」
62		7月号	ニホンイヌワシ繁殖成功!
63		10月号	新猛獣舎がめざすもの
64	2004	1月号	大森山動物園サルたちのひとり言
65		3月号	絶滅の淵から復帰への試み
66		7月号	「フンボルトペンギン」の繁殖成功に至るまで
67		10月号	大森山にあった「淡水魚の聖域」～塩曳瀧の水生物調査から～
68	2005	1月号	「冬対策」(冬のどうぶつと動物園)
69		5月号	園内情報マップ
70		10月号	動物園と芸術
71	2006	1月号	大森山動物園条例を作る
72		7月号	イヌワシ3羽孵化
73		10月号	暑さ対策
74	2007	1月号	未来の大森山動物園、夢翔る
75	2008	3月号	動物シンポジウム
76		10月号	①森のびょういん ②ゼニタナゴ保全活動
77	2009	3月号	イヌワシ飼育40年の歴史
78		10月号	①宝くじ遊園「アソヴェの森」 ②ブリーディングローンについて
79	2010	3月号	トラの干支展
80		10月号	秋田の動物園60年
81	2011	3月号	南米小型サル舎「さるっこの森」リニューアルへの道
82		10月号	①東日本大震災と大森山動物園「動物たちから元気を!」 ②秋田市大森山動物園応援会 ③親と子のふれあい写真大会
83	2012	3月号	①平成24年通常開園スタート!もっと近くで。もっと感じて。 ②動物に教え、学ぶ。～動物トレーニングの現場から～
84		10月号	①変わり続ける大森山 動物園&公園 ②人工哺育の取り組み
85	2013	3月号	①大森山動物園の「挑戦」 ②動物園40年 歩みを振り返り、そして未来を展望する。
86		9月号	大森山動物園開園40周年記念
87	2014	3月号	①大森山動物園40周年を終えて ②大森山動物園の挑戦
88		10月号	①大森山動物園ビジターセンターが完成! ②シンポジウム「イヌワシの未来を語る」
89	2015	3月号	①様々な連携を目指して ②高齢化する動物たち
90		10月号	アフリカゾウ来園25周年
91	2016	3月号	①大森山Arts&Zoo ②サルの干支展
92		10月号	アムールトラの導入について
93	2017	3月号	①大森山動物園と教育機関との連携 ②高病原性鳥インフルエンザの発生について
94		10月号	①高病原性鳥インフルエンザからの再出発 ②国内最高齢のニホンイヌワシ「鳥海」の歴史
95	2018	3月号	①飼育下でのイヌワシ保全 ～生息域外保全の現状と課題～ ②3年目を迎えたアートプロジェクト ～大森山Arts&Zoo～
96		10月号	①アフリカゾウの繁殖に向けて ②繁殖に向けたさまざまな取組
97	2019	3月号	①アフリカゾウの繁殖に向けて(その2) ②大森山アートプロジェクトの可能性
98		10月号	楽しく見せるための施設改修
99	2020	3月号	①2年目を迎えた「大森山アートプロジェクト」 ②大森山もりもりコンテスト
100		10月号	コミュニケーション100号のあゆみ